



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西元 丈夫

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	24,219	106.3	236	5.6	224	3.9	221	14.5
2022年3月期第1四半期	11,742	39.5	250		233		193	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 221百万円 (14.5%) 2022年3月期第1四半期 193百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.77	
2022年3月期第1四半期	0.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	9,754	7,000	71.8	24.29
2022年3月期	9,833	7,067	71.9	24.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,000百万円 2022年3月期 7,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		1.00	1.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,600	89.4	260	2.8	250	15.7	240	37.1	0.83
通期	70,900	37.4	380	35.2	300	41.1	280	48.7	0.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	289,747,982 株	2022年3月期	289,747,982 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,532,557 株	2022年3月期	1,532,428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	288,215,446 株	2022年3月期1Q	289,645,418 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等もあり、社会・経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ情勢等に起因する原材料価格・資源価格の上昇に加え、急激な円安によるインフレ加速懸念が強まる等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、新型コロナウイルス感染症や地政学リスク等の影響から高値圏で推移しておりますが、インフレ加速による景気後退懸念はあるものの各国の利上げによる影響等を背景に総じて下落基調で推移いたしました。業績については金・白金族の集荷量が当初見込みを上回ったことや宝飾品の販売が好調であったことから堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買環境は良好であるものの、地価高止まりや建築資材の高騰等、事業環境は厳しい状況の下、都内収益物件の販売を行う等により、業績は改善傾向で推移いたしました。機械市況においては、電気自動車や半導体関連等の受注増加から内外需ともに回復基調であったことから、業績は改善傾向で推移いたしました。コンテンツ事業においては、中国ロックダウンの影響により一部商品に納期遅延が生じたものの、人気タイトルのグッズ販売が好調であったことから、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は24,219,623千円(前年同四半期11,742,562千円106.3%増)、営業損益は236,941千円の利益(前年同四半期250,236千円の利益)、経常損益は224,177千円の利益(前年同四半期233,322千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は221,693千円の利益(前年同四半期193,919千円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は23,009,402千円(前年同四半期10,547,483千円)、営業損益は235,409千円の利益(前年同四半期140,161千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は316,282千円(前年同四半期21,810千円)、営業損益は11,366千円の利益(前年同四半期2,540千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は250,578千円(前年同四半期206,569千円)、営業損益は5,850千円の利益(前年同四半期1,420千円の損失)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は628,746千円(前年同四半期954,977千円)、営業損益は87,559千円の利益(前年同四半期217,210千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より79,263千円減少し、9,754,110千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前連結会計年度末より73,475千円減少し、7,258,016千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加(210,671千円から429,634千円へ218,962千円の増加)、商品及び製品の増加(1,808,813千円から2,375,927千円へ567,114千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(4,095,519千円から2,893,031千円へ1,202,488千円の減少)であります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前連結会計年度末より5,787千円減少し、2,496,093千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前連結会計年度末より9,425千円増加し、2,432,433千円となりました。

(固定負債)

固定負債の残高は、前連結会計年度末より22,161千円減少し、320,972千円となりました。

(純資産)

純資産の残高は、前連結会計年度末より66,526千円減少し、7,000,703千円となりました。

減少の主なものは利益剰余金の減少(899,692千円から833,170千円へ66,522千円の減少)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2022年8月10日に公表の「2023年3月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,095,519	2,893,031
売掛金	210,671	429,634
商品及び製品	1,808,813	2,375,927
仕掛品	479,572	500,593
原材料及び貯蔵品	632,262	804,779
仕掛不動産	54,099	54,084
預け金	194	194
その他	90,426	239,840
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	7,331,491	7,258,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,165,708	1,169,273
減価償却累計額	△706,857	△719,593
建物及び構築物 (純額)	458,851	449,679
機械装置及び運搬具	526,661	550,820
減価償却累計額	△477,556	△475,880
機械装置及び運搬具 (純額)	49,104	74,939
土地	1,472,391	1,472,391
その他	149,284	149,284
減価償却累計額	△118,502	△120,078
その他 (純額)	30,781	29,205
建設仮勘定	24,500	4,537
有形固定資産合計	2,035,628	2,030,753
無形固定資産		
その他	18,586	17,653
無形固定資産合計	18,586	17,653
投資その他の資産		
投資有価証券	100,071	100,071
出資金	120,585	120,585
敷金及び保証金	123,846	123,332
繰延税金資産	98,100	98,634
その他	5,063	5,063
投資その他の資産合計	447,666	447,686
固定資産合計	2,501,881	2,496,093
資産合計	9,833,373	9,754,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	349,046	289,126
短期借入金	700,000	700,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	64,286	64,286
未払金	30,069	25,384
未払法人税等	27,133	3,417
前受金	1,089,731	1,170,835
契約負債	2,986	1,236
その他	109,754	128,147
流動負債合計	2,423,008	2,432,433
固定負債		
長期借入金	106,129	90,169
金属鋳業等鋳害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	9,495	4,527
資産除去債務	207,455	207,455
その他	16,102	14,868
固定負債合計	343,134	320,972
負債合計	2,766,143	2,753,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	899,692	833,170
自己株式	△81,389	△81,393
株主資本合計	7,067,230	7,000,703
純資産合計	7,067,230	7,000,703
負債純資産合計	9,833,373	9,754,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	11,742,562	24,219,623
売上原価	11,099,561	23,482,935
売上総利益	643,000	736,688
販売費及び一般管理費	392,764	499,746
営業利益	250,236	236,941
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	2
国庫補助金収入	8,142	7,898
その他	900	2,137
営業外収益合計	9,044	10,037
営業外費用		
支払利息	1,345	1,617
休山管理費	20,776	19,566
その他	3,835	1,617
営業外費用合計	25,957	22,801
経常利益	233,322	224,177
特別利益		
固定資産売却益	10	399
特別利益合計	10	399
税金等調整前四半期純利益	233,333	224,577
法人税、住民税及び事業税	40,017	3,417
法人税等調整額	△604	△533
法人税等合計	39,413	2,884
四半期純利益	193,919	221,693
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,919	221,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	193,919	221,693
四半期包括利益	193,919	221,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,919	221,693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	10,547,483	18,127	206,569	954,977	15,404	11,742,562	—
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,682	—	—	—	3,682	△3,682
計	10,547,483	21,810	206,569	954,977	15,404	11,746,245	△3,682
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	140,161	△2,540	△1,420	217,210	△5,463	347,947	△97,711

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への 売上高	11,742,562
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—
計	11,742,562
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	250,236

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△97,711千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△97,711千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	23,009,402	312,599	250,578	628,746	18,295	24,219,623	—
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,682	—	—	—	3,682	△3,682
計	23,009,402	316,282	250,578	628,746	18,295	24,223,306	△3,682
セグメント利益又は セグメント損失(△)	235,409	11,366	5,850	87,559	△3,082	337,103	△100,161

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への 売上高	24,219,623
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—
計	24,219,623
セグメント利益又は セグメント損失(△)	236,941

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△100,161千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△100,161千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、2022年6月29日開催の第130回定時株主総会において資本金の額の減少に関する議案を付議することを決議し、上記株主総会に付議され承認可決されました。

1. 資本金の額の減少の目的

当社は、企業価値の持続可能な成長を実現するための経営戦略の一環として、事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務の健全性を維持し、資本政策の柔軟性および機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うことといたしました。

なお、本件は発行済株式数を変更することなく、資本金の額を減少するものであり、所有株式数に影響を与えるものではないと見做しております。

また、当社の純資産の額に変動を生じるものではなく、1株当たりの純資産額に変動が生じるものではありません。

2. 減資の要領

(1) 減資する資本金の額

資本金6,248,926,581円のうち6,148,926,581円を減少し、100,000,000円といたします。

(2) 減資の方法

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額6,148,926,581円の全額をその他資本剰余金へ振り替えます。

3. 減資の日程

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議 | 2022年5月13日 |
| (2) 株主総会決議 | 2022年6月29日 |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 2022年8月1日 |
| (4) 減資の効力発生日 | 2022年8月15日 (予定) |